

個人質問

議会事務局
処理欄

令和4年8月8日 9時40分 受付

質問順位 第6番

武豊町議会議長 石原 壽朗 殿

武豊町議会議員 福本 貴久

一般質問の通告について

令和4年第3回武豊町議会定例会において、次のように質問したいから通告します。

質問事項

質問の要旨(具体的にご記入願います)

1. 投票行動
につながる
取り組みに
ついて

【趣旨説明】

担当課また職員の皆様におかれましては、毎回過密なスケジュールにもかかわらず適正な選挙事務の執行に努めて頂き、誠にありがとうございます。今後とも引き続き適正な執行に努めて頂きますよう、宜しくお願い致します。

今年の7月8日、安倍晋三元総理大臣が参議院議員選挙の応援演説中に凶弾に倒れた。このような暴挙は断じて許すことはできない。私は安全で正しい民主主義を守るために、皆さまと一緒に尽力をして行くことをお誓い致します。

私をはじめとして立候補をした、平成11年4月に執行された武豊町議会議員一般選挙の投票率は、65.88%であった。この直後の平成11年6月議会において、「町民の意思が反映される選挙事務」をテーマに質問に立った。また2回目の選挙についての質問は、平成27年6月議会において、「選挙の投票率向上について」をテーマに質問に立った。選挙についての質問は、これで3回目になるが、今回は「投票行動につながる取り組みについて」を質問する。

近年の本町投票率を選挙別に見ると、平成31年2月執行の愛知県知事選挙37.45%、平成31年4月執行の県議会議員選挙31.19%、令和3年10月執行の衆議院議員総選挙56.75%、令和4年7月執行の参議院議員選挙愛知県選出53.26%であった。そして町民にとって最も身近な、武豊町議会議員一般選挙は、平成19年4月59.28%、平成23年4月53.65%、平成27年4月51.2%、前回の平成31年4月は50%を切り、42.3%まで落ち込んでしまった。投票率の低下傾向は本町だけではなく、全国的にも同様である。各選挙がこのように、低い投票率で決まってしまう選挙でいいものか、心配でもあり疑問でもある。

全国の中には、投票率向上のために色々なアイデアや努力、取り組みをしている自治体や団体・組織があり、例えば投票済証を利用したお得な特典や選挙割りなどを実施し、投票率アップと売り上げアップの一助となる取り組みをしているケースもある。今後、令和5年2月には愛知県知事選挙、同年4月には前期・後期日程で、統一地方選挙が予定されており、投票率の向上も課題のひとつである。そこで以下、質問する。

※参考 中日新聞「2022年7月8日朝刊」28ページ

NHK「1ミリ革命」<https://www.nhk.or.jp/gendai/comment/0027/>

【質問事項】

- ①近年の投票率の下落傾向についての分析や見解は。
- ②今年7月の参議院議員通常選挙を含め、投票率向上のために各選挙において本町独自におこなっている内容はありますか。
- ③今まで企業や団体から投票率向上を目的とするような取り組みについて本町に相談をされたことはありますか。また本町から企業や団体に協力を依頼したことはありますか。
- ④投票済証を投票率向上や販促ツールなどに使用することは法律上、問題はないか。
- ⑤今後、投票率向上のために本町独自で考えている内容はありますか。